

# 技術展示



注目技術賞審査委員長  
豊口 佳之  
[近畿地方整備局企画部長]

「建設技術展2021近畿」では、昨今の激甚災害が続くなか、自然災害に備える「防災」分野、インフラメンテナンスに関する「維持・更新」分野、生産性向上や働き方改革に寄与する「IT・ICT」分野、インフラ分野におけるグリーン社会へ向けての「環境」分野など、時代のニーズに応える9つの分野を掲げ、それに対して産・官・学をはじめとした193の出展者から226ブースにて先端の建設技術の紹介が行われました。

本技術展では、技術の紹介だけでなく、最新の話題が得られる催しが多彩に用意されました。生活に欠かせないインフラと建設技術に関する特別講演、地方創生から考える関西再生や、建設業における次代を担う若手技術者が描くインフラの将来像に関するシンポジウム、コロナ禍におけるライフラインの事業継続と災害への備えに関するフォーラム、土木関連業界を代表する産・官の業種による学生のためのキャリア支援など、まさに時代のニーズにマッチした内容が来場者に向けて発信されました。

今回の注目技術賞、審査委員特別賞には、「安全・安心」分野から安全性向上に関する技術、「施工」分野から建設機械の自動化の技術、「IT・ICT」分野からは機械のコンパクト化とシステム化により施工性が向上した技術などが選定されました。また、来場者の投票により選ばれたベストブース賞の展示は、より工夫を凝らし来場者にもその熱意が強く伝わるものとなっていたかと思えます。その他にも、惜しくも受賞は逃した中にも特筆されるべき技術が多数ございました。

これからも、産学官で連携して建設技術展を盛り上げていくことにより、建設技術の開発や活用促進へとつなげ、国民の安全・安心や活力ある国土の発展に貢献することを期待いたします。

## 注目技術賞



展示された技術の中から、「技術の先進性」、「効果」、「活用性」の観点から公共事業の事業主体者が審査選定した「注目すべき技術」に贈られます。

## 審査委員特別賞

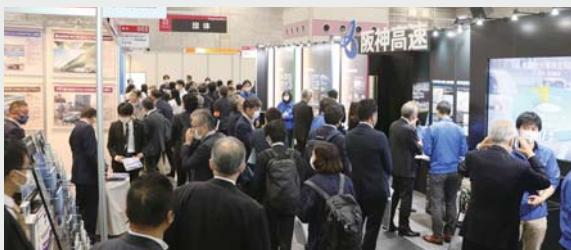


審査員による投票で、注目技術賞に選ばれなかったものの、技術の独創性やアイデア、先進性など今後、期待される技術について、審査委員会が特別に推薦したものに贈られます。

## ベストブース賞



一般来場者に最も関心の高かったブースに投票していただき、得票数が最も多かったブースに贈られます。



## 注目技術賞



(株)イトーヨーギョー

安全・安心

## 自転車ペダル対応歩車道境界ブロック ペダーループ

「ライン導水ブロック ペダーループ」は、自転車ペダルの退避スペースを設けた水路一体型の歩車道境界ブロックです。ペダルが縁石に接触しづらく、接触しても転倒しにくい構造です。

また、エプロンが無いので、横断勾配が一定となりガタツキがなく、自転車利用者の安全性向上に役立ちます。



Tel 06-6455-2503 <https://itoyogyo.co.jp/>

## 注目技術賞



鹿島建設(株)

施工

## 次世代建設生産システム A<sup>4</sup>CSEL<sup>®</sup> (クワッドアクセル)

A<sup>4</sup>CSEL<sup>®</sup>(クワッドアクセル)は、(1)汎用建設機械の自動化技術(2)施工状況に応じた運転を行う制御プログラム(3)自律運転を可能とするための計測・認識技術で構成される自動化施工技術です。

鹿島は、生産性と安全性を飛躍的に向上させるために新しい施工システムが必要と考え、作業指示を送ることで、自動化された建設機械が自律・自動運転を行い、必要最小限の人員で多数の機械を同時に稼働させることをコンセプトとした、次世代の建設生産システムを実現しました。



A<sup>4</sup>CSEL<sup>®</sup>稼働状況

Tel 06-6946-3311 <https://www.kajima.co.jp/>

## 注目技術賞

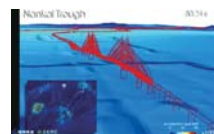


(一財)阪神高速先進技術研究所

団体

## 創造的先進技術への挑戦

都市高速道路事業へより一層の貢献を目指して先進技術の研究開発へチャレンジしていきます。



大規模解析による耐震性評価に関する検討



耐震補強構造の設計法に関する検討



疲労耐久性検証のための実験的検討



高性能鋳鉄床版の開発



震災資料保管庫の運営



技術講演会の実施

Tel 06-6244-6060 <https://www.hit.or.jp>